

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月20日更新

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 大山 由紀美
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実		所属課	高齢者支援課	担当者名 三谷 三恵
	施策の柱	27	高齢者の介護予防の推進		所属班	包括支援センター班 (内線)	1626
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	
		11	3	7	11650		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの実現に向けて、包的かつ継続的な在宅医療の提供や医療・介護の関係者の連携を推進するための事業である。平成28年度から菊池郡市医師会に一部業務委託し(この事業については菊池郡市医師会との連携が不可欠である)、共同で研修会等の企画・運営、事例検討などを行っている。 また、医療・介護サービスは市だけで完結せず、近隣市町村との連携が重要であるため、菊池市・合志市・大津町・菊陽町で足並みを揃えるべく、菊池郡市医師会には4市町合同で委託を行い、5者間で協議を行っている。また、4市町合同で住民啓発向けパンフレットやスムーズな入退院調整を行うための事業所向けガイドブック作成を行っている。 合志市独自では、年に1回、合志市在宅医療・介護連携推進会議を開催し、現場職員の現状や課題抽出のための場としている。
【業務の流れ】	菊池市・合志市・大津町・菊陽町・菊池郡市医師会との協議を行いながら、事業を進めていく。専門職向けの研修会の企画・運営・評価、圏域の課題抽出の場の設定、定期的な意見交換、住民向け啓発講演会などを実施する。 最終的な委託事業のモニタリング、評価を行う。
【主な予算費目】	報償費、旅費、役務費、委託料
【意見や要望】	医療機関によって退院調整に差があり、住民が病院から在宅へ戻る際に、十分なサービスの導入が間に合わない場合がある。 合志市在宅医療・介護連携推進会議において、医師や薬剤師などの医療職から、専門性の高い助言があり、支援の方法の一助になったと介護職より意見があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	新規・拡充区分:
菊池郡市医師会と4市町合同で、医療・介護関係者の連携と資質向上のための研修会を2回開催した。平成30年度にエンディングノート(合志市版)を作成し、市民向け終活セミナーを開催した。また、窓口にてエンディングノートを配布開始した。合志市在宅医療・介護連携推進会議を3月に開催した。入退院時のスムーズな連携を目指し、入退院調整ガイドブックを作成し、多職種研修会で周知を行った。市民の理解や意識向上の啓発のためのパンフレットを健康教育等で配布している。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
菊池郡市医師会と4市町合同で研修会を開催し、市独自でも在宅医療・介護連携推進会議を継続開催予定。また、地域ケア会議の参加者を医師だけでなく歯科医師・薬剤師、栄養士等の多職種に参加を呼びかけ、医療・介護連携に関する地域課題の抽出を行っていく。入退院支援ガイドブックの啓発活動を行う。市民に対し、引き続きパンフレットを使用し周知・啓発していく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) (単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 研修会・会議等の開催回数	業務内容の見直しによる委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
65歳以上の市民および地域の医療・介護従事者	→ ア: 要支援・要介護認定者数(居宅) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
誰もが最期まで住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる。	→ ア: 在宅医療・介護連携推進に関する研修会参加者数 人
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠	
研修会や会議の開催により、地域の医療・介護の連携が強化される体制を整えることで、医療・介護サービスを利用しながら住み慣れた自宅で最期まで安心して生活できることにつながるため、居宅療養管理指導(訪問診療・歯科診療・薬剤師など)を利用し在宅生活を送る認定者数を成果指標とした。目標値は居宅介護支援を受ける人の20%とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	ア	回	9	12	10	4	10	10	10	10	
② 対象指標	ア	人	10	1,399	1,400	1,494	1,400	1,400	1,450	1,500	
③ 成果指標	ア	人	494	202	280	366	280	400	400	400	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	491	709	815	88	104	863	863	863
		都道府県支出金	千円	245	354	408	43	52	432	432	432
		地方債	千円								
		その他	千円	278	399	487	53	63	487	487	432
		繰入金	千円	245	354	408	43	52	432	432	432
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	1,259	1,816	2,118	227	271	2,214	2,214	2,159	
	(A)のうち指定経費	千円	0	165	69	68	72	165	165	165	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	165	69	68	72	165	165	165	
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	700	410	650	483	650	650	0	0	
	(B)人件費計	千円	0	1,621	2,589	1,903	2,589	2,589	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,259	3,437	4,707	2,130	2,860	4,803	2,214	2,159	

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 菊池郡市医師会と4市町合同で研修会等の企画・運営し、研修会を実施した。独自でも、在宅医療・介護連携推進会議を開催し、顔の見える関係を築けた。パンフレットの配布により、在宅でも医療が受けることが可能であることを周知することができた。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 研修会を定期開催すると共に、パンフレットを使用し市民の意識向上のために周知していく。また、入退院調整ガイドブックを関係機関に周知することで医療・介護の連携強化を図っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 研修を定期開催することで、医療機関・介護関係者等の連携意識の向上につながっており、また、入退院調整ガイドブックの周知を行うことで今後の連携強化が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がないため、事業の統廃合が難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊池郡市医師会に一部業務委託していたものを見直し、必要最小限の事業費で行っていく。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 この事業を実施するために、必要最低限で行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 住み慣れた地域で最期まで安心して生活していくために、全ての市民が対象となる事業のため、適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域包括ケアシステムを実現するためには、菊池郡市医師会や各種団体との連携が必要であり、行政の役割として適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

菊池郡市医師会と4市町共同で研修会を定期開催し、多くの関係者が集まり顔の見える関係を築くことができた。また、市民啓発のためのパンフレットを使用し住民啓発をおこなうことで、制度を知ってもらうきっかけ作りができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						